
Nonexistent • World

KOUMORI

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Nonexistent・World

【Nコード】

N1151V

【作者名】

KOUMORI

【あらすじ】

少年——高島^{たかじま} 京也^{きょうや}は、中三の夏ある出来事に会ってしまふ。それは、やがて誰もが知る出来事へとなっていく。そして、その出来事は京也の人生を大きく変えることになる。

ブローグ

「じゃ、夏休み明けな」

幼馴染みであり心の友である凰ヶ崎正和の言葉に軽く返事を返し、一人暮らししているボロアパートへと向かって歩き出す。

ギヤーギヤーと鳴く蝉の声を聞きながら、図書館の脇を通り過ぎ、木陰を求め木が生い茂っている公園にお邪魔する。

季節は夏。俺にとって中学に入学して三回目の夏。つまり俺は思春期真っ盛りの中学三年生。それでもって明日から夏休みが始まる。一休みしようと木陰に入り、たまたま近くにあったペンキが剥げて茶色の木の色が剥き出しのベンチに腰掛ける。

今年の夏は例年の暑さを軽々と超え、毎日四〇度以上という、いかれにいかれた夏になっている。しかし、まあ…明日に夏休みというパラダイスが待っているから許してあげても良いと思うのだが…
…までよ……受験勉強しないとまずくね？ ……と、とにかく。

「暑すぎじゃあああ!!」

もう、何回言ったか分からないほど口になっている叫びが喉まで出かかったが、もし人がいたらたぶん厨二病扱いされそうだからやめておく。

汗でぬれた制服のワイシャツに風を通しながら、何気なく空を見上げるとそこには、ギラリと光る太陽と、雲一つだけある青空が広がっていた。

「いくら何でも暑すぎでしょ。ハハハ。いつそ死んで、天国という楽園に行きたくなってきたよ…」

何となく呟いてみて俺は、近くを通りがかったジジイに『頭、大丈夫?』と言いたげな目でガン見されて後悔した。

三分経ってもジジイがこちらを見てくるので何か言ってやろうと

思ったとき、やっとジジイが目をそらしたので、今がチャンスとばかりに帰ろうと思いベンチから腰を上げる。うーんとのびをし、空を見上げる。

自分の方へと空から落ちてくる黒い物体を目のはしで捕らえるでとらえる。

——ん？ 何だありゃ？

——羽？

その黒い物体はグングン加速し、こちらにもの凄い勢いで落下し続ける。次第に物体の正体があらわになり、凝視する。

「な……？ え……！？」

一瞬何を見ているのかがさっぱり分からなくなる。

それは、この世に存在しないはずの生物だった。思考が追いつかない。目だけがかろうじてそれを捕らえる。

そして——それは

——少年の前に着地した。

——すべては——

瞬の出来事——

ブログ（後書き）

ブログ短いのはご了承ください。次いつでるか分らないですが・・・頑張ります。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1151v/>

Nonexistent・World

2011年10月9日11時32分発行